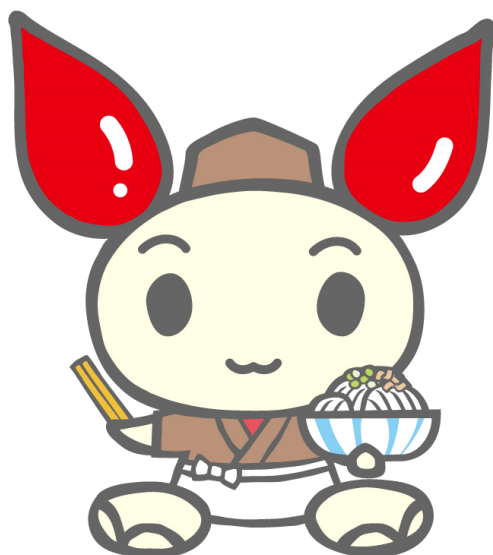


令和6年度

# 事業年報



香川県赤十字血液センター



---

# 目次

1	一年の動き	2
2	各部門の動き	
1.	献血推進部門	4
2.	採血部門	5
3.	供給部門	8
4.	学術情報部門	11
5.	品質情報部門	13
6.	献血ルーム	14
3	資料	
1.	施設概要	15
2.	組織概要	17
3.	献血状況	18
4.	供給状況	20
5.	表彰状況	21

# 1 一年の動き

令和6年4月

- ・スプリングキャンペーン：献血ルーム（4/1～4/12）

令和6年5月

- ・平日成分献血予約キャンペーン：献血ルーム（5/7～5/31）
- ・全国赤十字大会：東京（5/15）
- ・第71回日本輸血・細胞治療学会学術総会：東京都（5/30～6/1）

令和6年6月

- ・世界献血者デーキャンペーン：献血ルーム（6/10～6/14）

令和6年7月

- ・中国四国学生統一献血キャンペーン（サマーキャンペーン）：高松市（7/1～9/30）
- ・親子血液センター親子見学会：高松市（7/21～22・7/27～28）
- ・第60回献血運動推進全国大会：岐阜県（7/18）
- ・令和6年度献血運動推進全国大会厚生労働大臣表彰状及び感謝状等伝達式：香川県庁（7/23）

令和6年8月

- ・コミックマーケット104献血応援イベント：献血ルーム（8/11～9/30）
- ・高校生ボランティアネットワーク血液センター見学会：高松市（8/5・8/19）
- ・平日限定400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（8/19～8/30）

令和6年9月

- ・職場体験：高松市（9/5～6、12～13）
- ・第69回日本輸血・細胞治療学会中国四国支部例会：高知県（9/14）

令和6年10月

- ・安全運転管理者研修：高砂市（10/10～10/11）
- ・ハロウィンキャンペーン：献血ルーム（10/15～10/31）
- ・令和6年度香川県石油コンビナート総合防災訓練：坂出市（10/16）
- ・第31回日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウム：埼玉県（10/18～10/19）
- ・職場体験学習：高松市（10/16～17）
- ・香川県総合防災訓練：高松市（10/27）

## 令和6年11月

- ・平日400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（11/1～11/29）
- ・緊急自動車運転研修：高砂市（11/1～11/2、11/23～11/24）
- ・職場体験学習：高松市（11/6～8）
- ・Electronic Artsによる献血協力キャンペーン：献血ルーム（11/8～2/11）
- ・香川県立中央病院祭へのブース出展（11/9）
- ・令和6年度中国・四国ブロック緊急消防隊合同訓練：さぬき市（11/10）
- ・合同輸血療法委員会：香川大学医学部附属病院（11/11）
- ・第48回日本血液事業学会：福岡県（11/12～11/14）
- ・高校生街頭献血キャンペーン（11/24）
- ・大型自動車研修：高砂市（11/28～11/29）

## 令和6年12月

- ・予約Thanks!キャンペーン：香川県内（12/1～3/31）
- ・全国学生クリスマス献血キャンペーン2024：献血ルーム（12/16～12/25）
- ・コミックマーケット105献血応援イベント：献血ルーム（12/29～1/31）

## 令和7年1月

- ・はたちの献血キャンペーン：献血ルーム（1/1～2/28）
- ・新春キャンペーン：献血ルーム（1/3）
- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（1/11～1/13）
- ・平日400mL献血予約キャンペーン：献血ルーム（1/14～1/31）
- ・令和6年度中四国ブロック内血液センター災害対応訓練（1/21）

## 令和7年2月

- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（2/1～2/2）
- ・香川県血液対策協議会：香川県庁（2/14）
- ・高校生街頭献血キャンペーン：高松市（2/11）
- ・令和6年度全国赤十字救護班研修会：広島県（2/22）

## 令和7年3月

- ・高松市民献血の日記念キャンペーン：献血ルーム（3/1～3/2）
- ・スプリングキャンペーン（3/10～4/18）
- ・SANUKI ROCK COLOSSEUM 2024ブース出展：高松市（3/15～16）

## 2 各部門の動き

### 1. 献血推進部門

医療に欠かすことのできない輸血用血液は、まだ人工的につくることができません。また、長い期間にわたって保存することもできません。そのため、輸血に必要な血液を安定的に確保する必要があります。

令和6年度の香川県の献血者は、公共団体機関及び献血推進団体等の協力を得て、35,647人となりました。（前年度比97.0%）

移動採血車は318台配車し、17,031名のご協力をいただきました。献血ルーム『オリーブ』では359日開所し、18,300名に献血のご協力をいただきました。



<学生による街頭での呼びかけ>

安全な献血者を安定的に確保することを目的にした『複数回献血クラブ ラブラッド』には3,206名に入会いただきました。

少子高齢化が年々進んでいくなか、若年層による献血が将来への安定供給には必要不可欠となります。令和6年度も引き続き、10代の献血者確保に取り組んでまいりました。コロナ禍の影響もあり、学域献血の実施が制限されるなどもありましたが、1,321名に献血のご協力をいただきました。（前年度比84.4%）

まだ献血が出来ない世代に多する啓発活動として、「小学生・中学生親子血液センター見学教室」を開催しました。この見学会は、献血に対する興味関心を引き出すとともに、夏季休暇中の自由研究に役立てることを目的としています。7月21日・22日・27日・28日の4日間、計8回行い、児童216名、保護者199名に参加いただきました。



<献血についてスライドで学習中>



<実物を見て触れてみよう>

県内の中学校4校からは職場体験を受け入れ、採血から供給までの一連の流れを経験してもらうことで、血液事業への理解を深めてもらいました。

## 2. 採血部門

### 1. 教育システム

#### (1) キャリア開発ラダー

血液事業に携わる専門職業人としての知識・技術を高め、自律した看護師を育成することを目的とし、令和元年より「赤十字血液センター看護師のキャリア開発ラダー」を導入しています。組織的な教育体制を確立し、個々の成長段階に応じた教育支援が行える体制を整えています。現在キャリア開発ラダー「レベルⅠ」を6名（内3名は病院）が取得しています。

#### (2) 学会認定・アフェレーシスナース制度

成分採血装置を用いて血小板と血漿を採血するアフェレーシスを行っています。アフェレーシスナースとは成分採血の知識、技術の向上、成分採血の指導者としての活躍を期待した学会認定制度です。香川センターは8名の看護師が学会認定・アフェレーシスの資格を取得し、成分採血業務に従事し成分採血の知識・技術の向上や課員の指導を行っています。

#### (3) ドナーケアのスペシャリストの育成

献血者の個別性を捉え察知し、献血者の満足を得るとともに、採血副作用において予期しない事象が発生した場合は自ら解決し、献血者へ適切かつ迅速なケアができるよう、採血副作用に関する専門看護師を育成する目的で令和3年度よりドナーケアのスペシャリストの育成が行われています。対象者は、血液センターの採血実務経験3年以上、採血副作用発生時にリーダーシップを発揮し、職員に適切な指示ができる看護師です。採血副作用、脳疾患、循環器疾患、献血者健康被害救済制度、看護倫理、一次救命処置等の研修を終了しています。令和6年度は1名が研修会に参加し現在7名がドナーケアのスペシャリストとして採血現場で看護実践や指導を行っています。

### 2. 献血ルーム受付時間変更

令和6年4月1日より有効期限の短い血小板を効率的かつ確実に確保するため、献血ルーム「オリーブ」の受付時間が変更になりました。

#### 全血献血

(変更前) 9:40～12:40      (変更後) 9:00～12:30

13:40～17:40      13:30～17:00

#### 成分献血

(変更前) 9:40～12:40      (変更後) 9:00～12:30

13:40～16:40      13:30～16:00

### 3. 自動血球計数装置の更新

献血ルームオリーブの自動血球計数装置（シスメックスXN-550）が令和6年11月に更新しました。以前の装置よりコンパクトになり、使用方法も検体セット後スタートボタンを押すだけで検査できるようになりました。また、試薬管理、精度管理等のデータ管理も簡便にできるようになりました。



### 4. 南海トラフ地震などの防災対策

30年以内に80%の確率で発生すると言われている南海トラフ地震やそれ以外の災害に備えて、献血ルームオリーブでは令和6年5月から靴を履いたままで採血しています。移動採血、献血ルームオリーブ共に毎年災害避難訓練を実施し、防災備品としてヘルメットや防災頭巾などを整備しています。



## 5. 献血ルームの採血ベッド更新

献血ルームオリーブの採血ベッドを前年度5台更新し、令和6年度にも5台更新しました。

オリーブをイメージした色調で献血ルームの雰囲気には調和し、リラックスして過ごせると、献血者からも好評です。



### 3. 供給部門

#### 1. 学術情報・供給課の動向

令和6年度の輸血用血液製剤の供給量は令和5年度からは若干増加したものの、今後の傾向としてはやはり減少していくものと予測される1年となりました。学術係と供給係で連携して各医療機関からの情報収集、他県血液センターとの情報共有を積極的に行い、精度の高い供給予測を行うことで安定的な供給体制が構築できるよう推進してきました。

#### ①第69回 日本輸血・細胞治療学会 中国四国支部例会（9月14日）

高知県において、現地及びWebによるハイブリッド開催方式での実施となりました。特別講演として、日本赤十字社 中央血液研究所の副所長である宮田茂樹が「大量出血症例に対する、より適切な輸血療法の構築を目指した新規血液製剤の展望」というテーマで講演いたしました。

#### ②第48回 日本血液事業学会総会（11月12～14日）

福岡国際会議場を会場として実施されました。学術情報・供給課からも2名が演者として参加し、「生徒の心に響け！職場体験学習×供給部門」、「輸血用血液製剤に関する勉強会の共同開催について」の演題発表を行いました。

#### ③令和6年度 赤十字血液シンポジウム【中四国ブロック】（12月7日）

広島大学広仁会館を会場として実施されました。「新しい血小板製剤の開発状況と危機的状況における輸血療法」をテーマに、日本赤十字社血液事業本部 技術部安全管理課長である日野 郁生による「血小板製剤への細菌スクリーニング導入」等、5つの講演が行われました。

#### ④第19回 香川県輸血合同療法委員会（11月16日）

香川県立文書館を会場として香川県健康福祉部薬務課と共催で開催いたしました。香川県内の医療機関15施設が参加（内1施設は文書回答のみ）し、各医療機関の活動報告や香川県防災計画にかかる情報交換等が行われました。

#### ⑤第30回 輸血懇話会（3月8日）

香川県赤十字血液センターを会場とし、現地及びWebによるハイブリッド開催方式で開催いたしました。香川県内の医療機関24施設を対象に、香川県内の血液製剤供給状況や最新のヘモビジランス（血液安全監視）の情報提供、「災害時における輸血の実際」について講演を行いました。

⑤中四国ブロック内血液センター 自動車運転研修会（11月1日・2日、11月23日・24日）

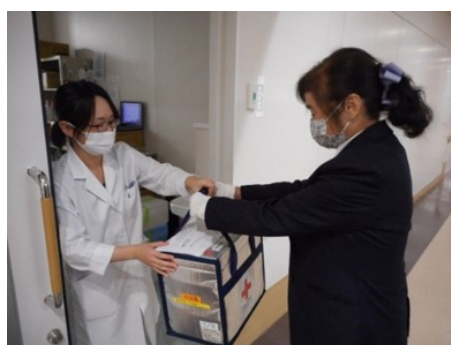
中四国ブロック血液センターが開催する9県合同の自動車運転研修会について、緊急自動車研修に学術情報・供給課から1名が参加しました。今年度から学術情報・供給課に配属となった職員であり、本研修を通して、自動車運転の安全意識や緊急走行の重要性について学びました。



<中四国ブロック内血液センター自動車運転研修会>

⑥小豆島地区医療機関への緊急輸送訓練（10月3日）

午前2時過ぎに小豆島地区医療機関からの依頼に基づき、海上タクシーを利用した緊急輸送で輸血用血液製剤を納品しました。例年、災害時及び夜間の緊急対応を想定した訓練を実施しており、訓練の成果が生かされていることを確認できた事例となりました。



<小豆島地区医療機関への緊急輸送訓練>

## 2. 輸血用血液製剤の供給状況

令和6年度の供給実績は、赤血球製剤51,316単位（対前年度比101.4%）、血漿製剤12,284単位（対前年度比99.5%）、血小板製剤56,870単位（対前年度比113.8%）、計120,470単位（対前年度比106.7%）でした。

## 3. 供給体制の検討について

### ①輸血用血液製剤W E B受注率

令和6年4月をもって、輸血用血液製剤の受注体制はインターネットによるW E B受注へ完全移行しました。W E B受注システムは災害時における通信障害への対策も行っており、その対策内容について輸血合同療法委員会及び輸血懇話会で参加医療機関を対象に説明を行いました。

### ②輸血用血液製剤定時配送便率

輸血用血液製剤は、緊急の場合を除き、1日2回の定時配送便による納品を行っています。令和6年度の定時配送便率は84.0%であり、日本赤十字社血液事業本部が示した目標である80%を達成することができました。令和5年度に引き続き達成できたのは各医療機関からのご理解とご協力によるものです。

## 4. 次年度に向けて

次年度は細菌スクリーニングを導入した安全性の高い新規血小板製剤への移行が予定されています。新規の医薬品となることからスムーズに移行ができるよう入念な準備を行い、各医療機関への周知・説明を行っていきます。

また、輸血用血液製剤のより安定的で効率的な供給体制を構築できるよう、今年度に引き続き香川県赤十字血液センター各課・各県赤十字血液センターと連携して血液事業を推進していきます。

## 4. 学術情報部門

### 医薬情報活動の概要

医療機関に供給された血液製剤は、必要な情報（品質・有効性・安全性等）が付加されてはじめて適正に使用されます。その情報を「医療関係者に提供し、使用された情報を収集し、適切に分析・評価された結果を医療関係者へフィードバックする」これら一連の役割を担っているのが医薬情報担当者（MR：Medical Representative）で、学術情報・供給課学術係がその業務を行っています。いわば医療のパートナーとして訪問活動をしており、なかでも、輸血に伴う副作用・感染症自発報告症例を医療関係者から情報収集し分析・評価することは、血液製剤の安全対策にも反映される重要な業務と位置付けられています。

また、血液製剤の取り扱いに関する問い合わせの対応や医療従事者への説明会を実施することで、有限で貴重な血液製剤を適正に使用していただくよう活動しています。

輸血用血液製剤に関する情報提供について、下表のとおり情報媒体を医療機関へ配布しました。また、輸血管理部門担当者や医師・看護師等を対象とした説明会を開催しました。

### 輸血情報・お知らせ文

発行年月	内容
令和6年4月	輸血用血液製剤の薬価・医薬品コード・レセプト電算コード等について
令和6年8月	輸血情報 2408-182 「輸血用血液製剤との関連性が高いと考えられた感染症症例 -2023 年-」 輸血情報 2408-183 「赤十字血液センターに報告された非溶血性輸血副作用 -2023 年-」
令和6年10月	輸血情報 2408-184「新型コロナウイルスの輸血感染リスクについて」 Transfusion Chain_創刊号
令和7年1月	Transfusion Chain_Vol.2 「Haemovigilance by JRCS 2023」 ホームページに掲載するお知らせ
令和7年2月	輸血情報 2502-185「輸血関連循環過負荷（TACO）の危険因子について」

## 説明会

開催年月	内容	開催機関
令和6年5月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	K病院
	輸血用血液製剤の取り扱いについて	D病院
	認定輸血検査技師施設研修会	認定制度受講者
令和6年5月 ～12月	血液センターWebセミナー（全20回）	県内医療機関
令和6年8月	香川県臨床検査技師会・四県合同研修会	四国医療機関
	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
令和6年12月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科
令和7年2月	輸血用血液製剤の取り扱いについて	県内高等学校 看護科

## 5. 品質情報部門

品質情報課では、献血者の意思を活かし、医療現場の期待に応える持続可能な血液事業の基盤を確立するための品質方針を基に、全国どこでも、同じ品質の血液製剤が提供され、また更に品質が向上することを目指して活動しています。

Quality Policy



### 品質方針

令和6年4月1日  
血液事業本部長 紀野 修一

血液事業に携わる責任と誇りを持ち、血液製剤を必要とする方に高品質な製品をお届けするため、以下の品質方針を常に意識し行動します。

- 1 法令を遵守する。
- 2 横断的な社内コミュニケーションを推進し、品質保証の仕組み及び体制の透明性を確保し、適正で実効性のある運用を継続させる。
- 3 医薬品開発、技術移転、商業生産、生産終了の各段階において、常に品質を意識し、責任を持って継続的に品質を改善する。
- 4 血液製剤を必要とする方へ安心・安全な製品を安定的に提供するため、適正な採血・検査・製造・供給体制を構築する。
- 5 行政・医療機関などステークホルダーと連携し、各種情報が適切に把握できるトレーサビリティ体制を構築し、安全な輸血医療の推進に貢献する。

## 6. 献血ルーム

令和6年度は、午前中の成分献血確保を目的に、4月1日より受付時間の変更をおこないました。

9月～12月に中学生の職場体験学習や見学会の実施、12月に香川県学生献血推進協議会「LOVERS」主催のクリスマスキャンペーンなどを行いました。

また、土日祝を中心に月4回程、骨髄バンク説明員の方が来られて骨髄バンクについて説明をしてくれるドナー登録説明会を実施しました。

令和6年度の献血ルームオリーブ献血者数は延べ18,300人となっており、そのうち若年層献血者は年々減少傾向にあることから、将来にわたり輸血用血液製剤の安定供給を維持するために、若年層献血者の確保が急務とされています。

今後も若年層の方に献血の重要性を知っていただく機会を増やし、普及啓発を図ることを継続して取り組んでいきたいと考えています。

＜職場体験学習＞



＜クリスマスキャンペーン＞



# 3 資料

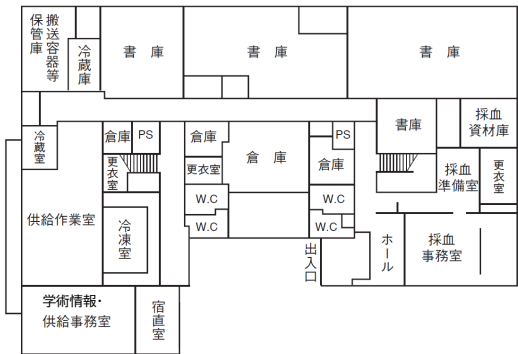
## 1. 施設概要

1) 香川県赤十字血液センター



所在地	香川県高松市郷東町字新開587番地1
敷地	3,300.14㎡（県有地・無償貸与）
建物	延床面積2,778.6㎡（昭和62年（1987年）3月20日竣工）
移動採血車	3台

1階平面図



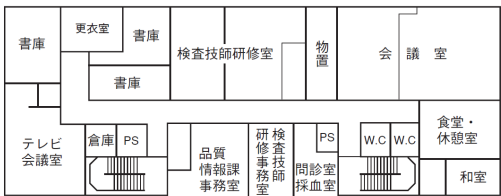
3階平面図



4階平面図



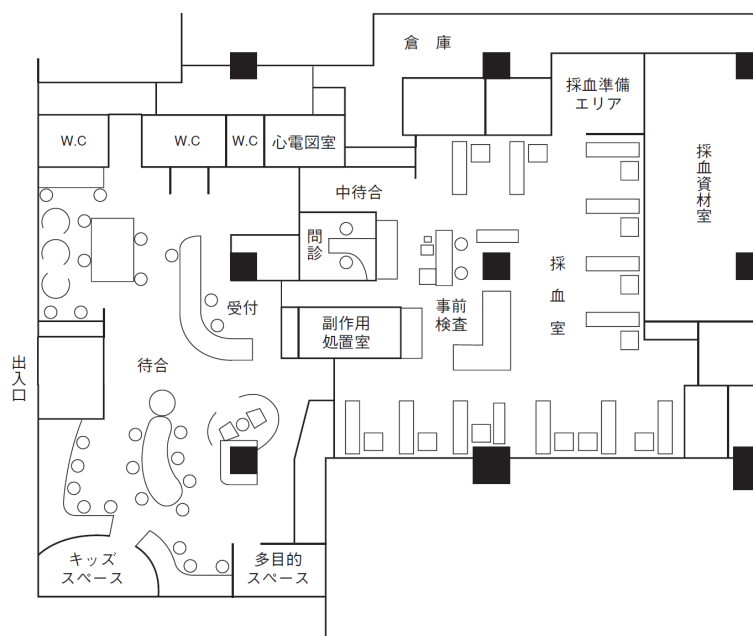
2階平面図



## 2) 丸亀町出張所



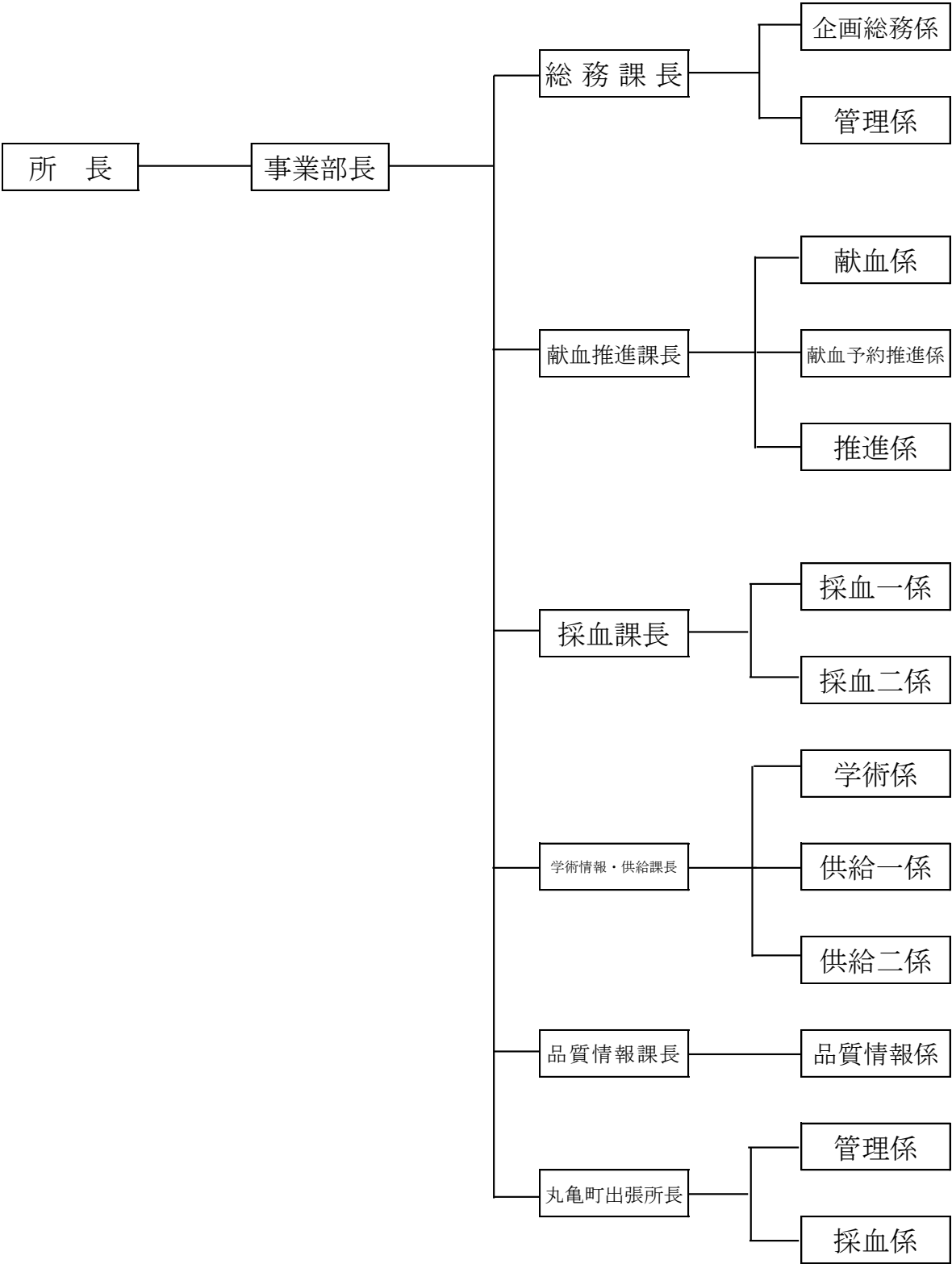
所在地	香川県高松市丸亀町13-3 高松丸亀町参番街東館3階
建物	延床面積491.33㎡（民間ビル賃貸）（平成23年（2011年）4月5日に移転）
採血ベッド	10台



## 2. 組織概要

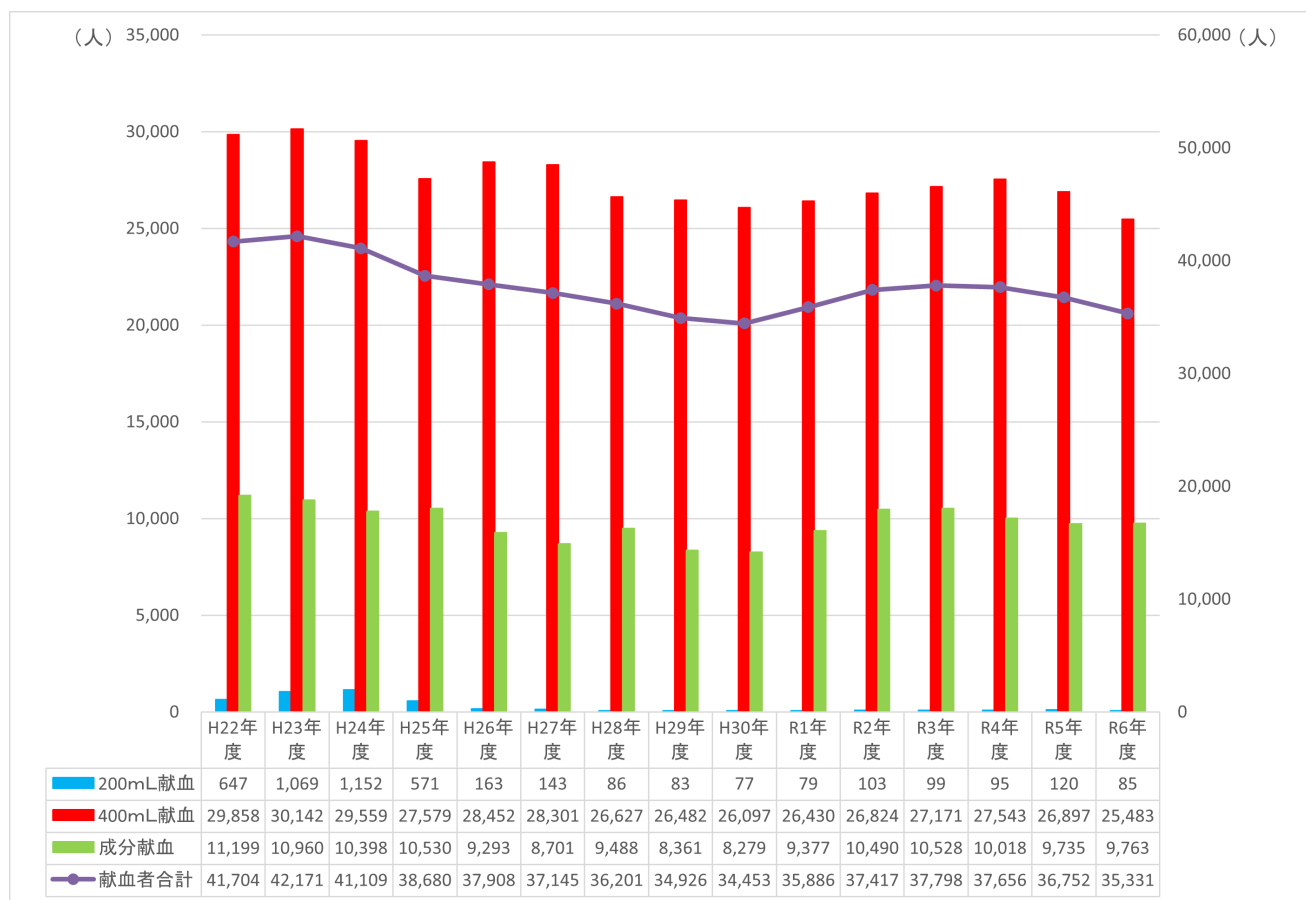
令和 6 年 4 月 1 日現在

組織	1 部 5 課 11 係、1 出張所 2 係
職員数	59 名（正職員 40 名、常勤嘱託職員 9 名、非常勤職員 10 名）

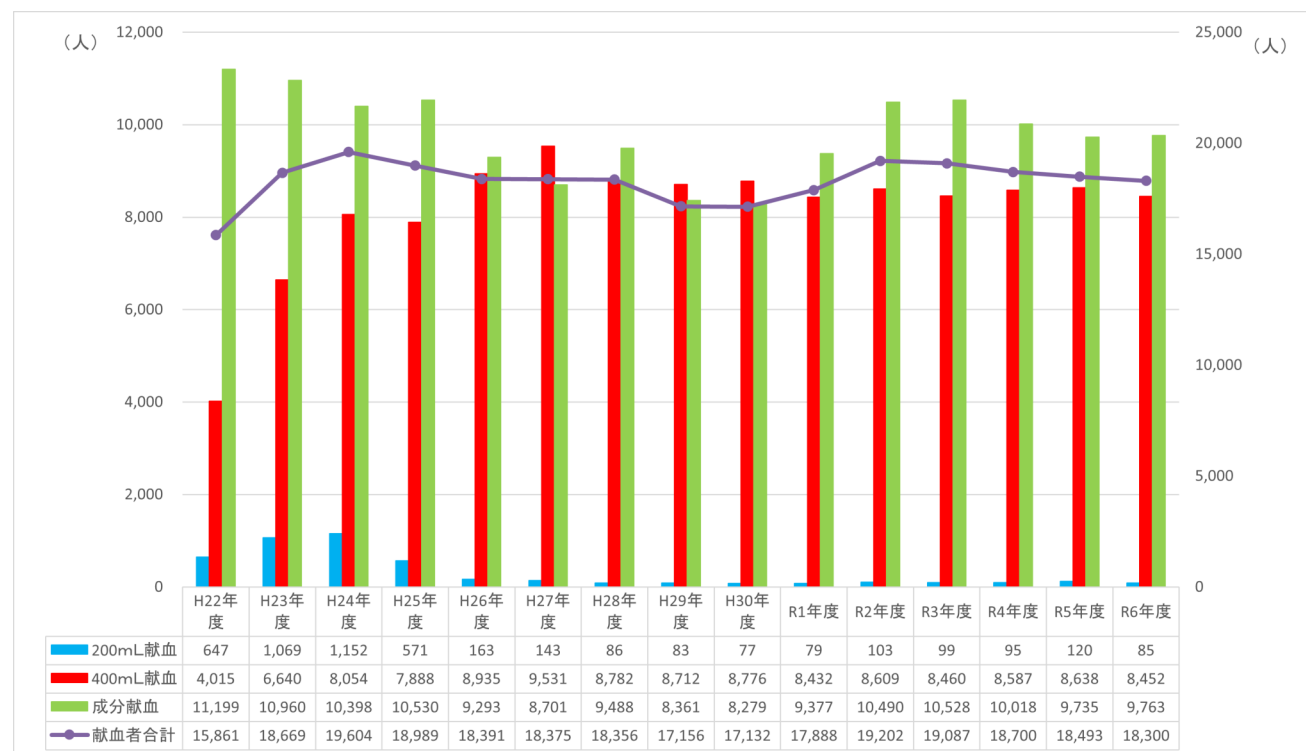


## 3. 献血状況

### 1) 香川県 年度別献血数（平成22年度～令和6年度）



### 2) 献血ルーム（平成22年度～令和6年度）



### 3) 年代別献血者数（平成22年度～令和6年度）



### 4) 性別、年齢別、職業別献血者数（令和6年度）

#### 性別、年齢別、職業別献血者数調

年齢別	16-19		20-29		30-39		40-49		50-59		60-69		合計		
区分	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
200mL献血	15	70	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15	70	85
400mL献血	930	261	2,414	985	2,823	856	4,139	1,350	5,750	1,999	3,031	945	19,087	6,396	25,483
血漿成分献血	21	13	247	151	543	193	1,260	424	2,275	656	1,385	245	5,731	1,682	7,413
血小板成分献血	11	0	111	0	258	0	565	1	1,018	0	386	0	2,349	1	2,350
合計	977	344	2,772	1,136	3,624	1,049	5,964	1,775	9,043	2,655	4,802	1,190	27,182	8,149	35,331

(人)

職業別	公務員		会社員		学生				その他		合計		
区分	男	女	男	女	高校生		その他		男	女	男	女	計
					男	女	男	女					
200mL献血	0	0	0	0	14	69	1	1	0	0	15	70	85
400mL献血	3,463	716	11,813	2,804	454	75	992	451	2,365	2,350	19,087	6,396	25,483
血漿成分献血	1,113	115	3,377	810	10	4	39	20	1,192	733	5,731	1,682	7,413
血小板成分献血	317	0	1,440	1	2	0	25	0	565	0	2,349	1	2,350
合計	4,893	831	16,630	3,615	480	148	1,057	472	4,122	3,083	27,182	8,149	35,331

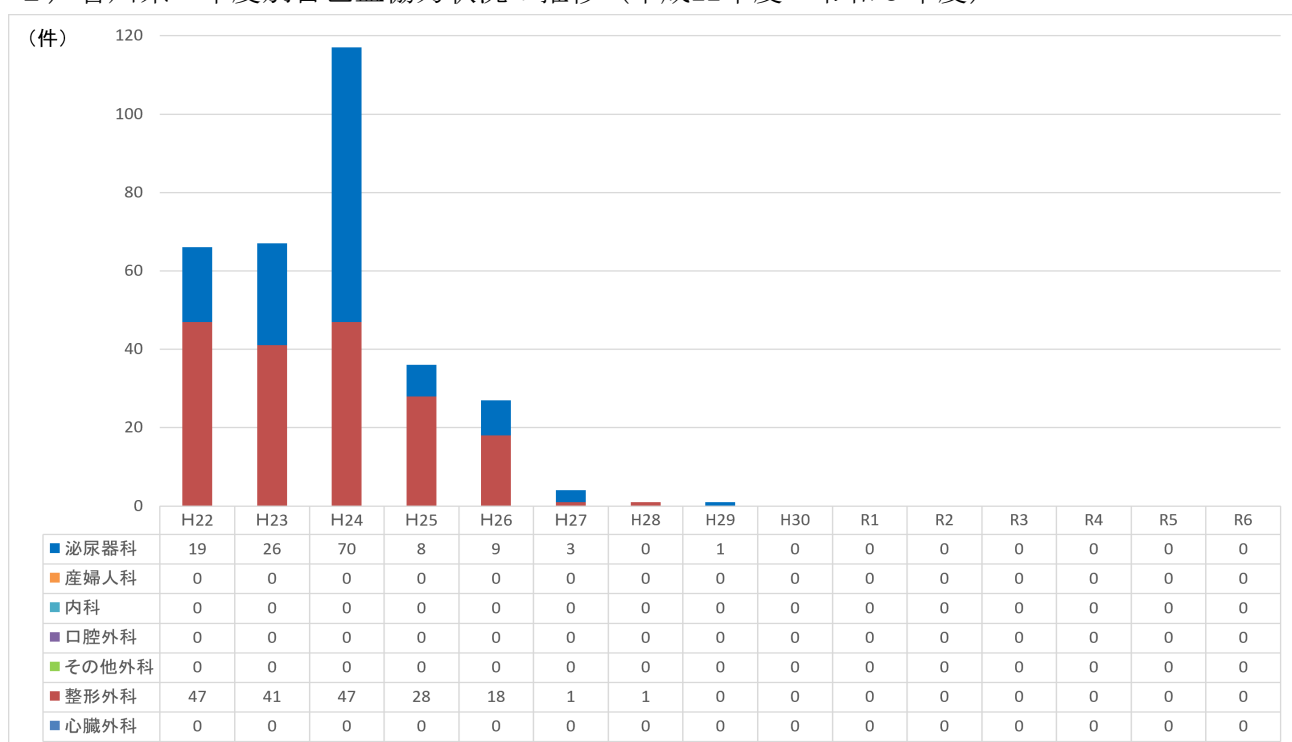
(人)

## 4. 供給状況

### 1) 香川県 年度別血液製剤別供給状況の推移（平成22年度～令和6年度）



### 2) 香川県 年度別自己血協力状況の推移（平成22年度～令和6年度）



## 5. 表彰状況

### 1) 献血団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所	高松東警察署	一般財団法人 大西精神衛生研究所附属大西病院
	学校法人穴吹学園 専門学校穴吹パティシエ福祉カレッジ	株式会社フソウ鋼管工場 イオンリテール株式会社イオンモール高松
小豆保健所		
中讃保健所	四国ガス株式会社丸亀支店	今治造船株式会社丸亀事業本部 丸亀工場西多度津事業部
		大倉工業株式会社仲南工場
西讃保健所		

	銀 色 有 功 章 活動継続年数15年以上	金 色 有 功 章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	株式会社三和テスコ	香川県厚生農業協同組合連合会 屋島総合病院	株式会社四電工
小豆保健所	マルシマ印刷株式会社		
中讃保健所		独立行政法人 高齢・障害・求職者 雇用支援機構香川支部 四国職業能力開発大学校	
西讃保健所	株式会社WaveEnergy		

### 2) 献血推進団体功労

	支部長感謝状 銀色枠 活動継続年数5年以上	支部長感謝状 金色枠 活動継続年数10年以上
東讃保健所		
小豆保健所		土庄町商工会青年部
中讃保健所		
西讃保健所	観音寺市大豊商工会	

	銀 色 有 功 章 活動継続年数15年以上	金 色 有 功 章 活動継続年数20年以上	社長感謝状（金色有功章受賞後） 活動継続年数30年以上
東讃保健所	高松グリーンライオンズクラブ	仏生山地区保健委員会	
小豆保健所			
中讃保健所	うたづライオンズクラブ		
西讃保健所			豊浜地区献血推進協議会

